

大石市政の主要事業の実施状況

事業着手率89%と順調に推移



佐藤 忠男 議員 (明和会)

総合計画・基本計画に掲げた施策の方針を、一期四年の中でどの程度実施事業に反映された

か。基本計画の中間目標は平成22年だが、現時点での成果指標を伺う。
A(市長) 着手率は主要事業364事業中324事業着手で89%、施策の成果指標は、31施策のうち28施策について、現状の取り組みの延長でおおむね中間目標が達成可能と、進

ちよく状況は順調に推移しているが、昨年から急激な景気の後退等により企業誘致、雇用、観光関連施策は目標達成が厳しい状況である。
B(農産部長) 農業の動向と振興策
C(農産部長) 農業産出額、生産農業者所得、作目構成におけ

る全国、岩手県との比較において本市農業の動向・実態をどう捉えているか。また、これらを踏まえてどのような振興施策を行ってきたか。
A(農林水産部長) 農業産出額の米の産出額比率は、全国約22%、県約25%に対し、本市は約52%と米の割合が非常に高い。そこで生産性の向上と所得確保のため農協と連携し、生産基盤整備や農地集積などの施策を展開した。



振興センターは市内27カ所に設置されています(本年4月から新たに設置された花西振興センター)

コミュニティ会議への交付金は要望や意見を踏まえ割合見直す



若柳 良明 議員 (平和環境社民クラブ)

コミュニティ会議への交付金の配分基準を見直すとしているが、どのような基準で見直すのか。

か。農村部、中山間地はカーブミラーや街路灯を必要とする箇所が多くある。農村部、中山間地に交付金を増額すべきと考えるがその対応はどのようにするのか。
A(市長) 分配方法に関する要望や意見交換会を踏まえ、均等割の比重を

高め、宅地や雑種地以外の地目も、一定程度面積割に加味する方向で進めたいと考えている。
B(民生児童委員の役割の重要性を市民へどのように啓発しているか。また、現行定数を確保する

ための対応策とその見込みはどうなっているか。
A(生活福祉部長) 地域福祉情報誌「ゆいっこ」を定期的に発行し活動の様子や役割を紹介している。また、戸別訪問の際に役割と活動を記載したカードを配布している。広報「はなまき」や市ホームページなども活用し周知していきたい。現行定数の確保を図ることを最優先に取り組み、地域における新たな支え合いの仕組みを構築したい。



コミュニティ会議では地元の要望を受けてさまざまな事業を実施しています(内川目地区に設置されたカーブミラー)

東和初の学童クラブ設置は

小学校開校に合わせて設置する



小田島 邦弘 議員 (花巻クラブ)

東和地域の東和小学校は、1年前倒しで建設され、平成23年4月に新しい学校として授業や教

育が始まる。開校と合わせ放課後の学童クラブの設置希望が保護者から多く寄せられているが、その設置をどう進めるか。
A(健康・こども部長) 東和地域の小学校統合に伴う学童クラブについては、建設促進協議会より設置の要望を受けてい

る。5月実施のアンケートを見ても必要性は高く、開校に併せ設置したいと考えている。児童館については、学童クラブに集約する方向で調整が必要と考えている。
B(学校跡地の利活用は統合で、東和地域の

6校が廃校となり、各学区で校舎や跡地利用についてコミュニティ会議等で検討協議しているが、市は利活用をどのように考えているか。
A(教育部長) 危険建築物は原則解体する。それ以外は、地域の意向を踏まえ活用策を見出した。活用する場合は、市は施設維持に必要な最低限の費用負担とし、地域による管理・運営をお願いしたい。



東和地区の保護者や学校関係者等で開催した東和小学校建設促進協議会では学童クラブ専門部会を設けて、児童館の今後と学童クラブ設置について話し合っています(9/14)

中小企業への支援強化を 経営安定に向け取り組みを強化



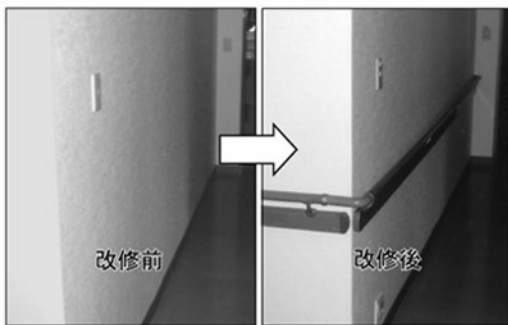
荒井 明子 議員 (無会派)

地域経済への波及効果が大きく全国に広がっている「住宅リフォーム助成制度」や中小企業へ

の発注を増やす「小規模事業者登録制度」の実施について、また、中小企業への固定費補助や税の減免などの緊急支援策を強化すべきではないか。
A(建設部長・総務部長) リフォーム助成は、高齢者や障がい者の在宅福祉のための改修や木造住

宅の耐震補強工事への補助金、水洗トイレ普及のための改修資金の斡旋や利子補助を実施している。小規模事業者登録制度は、この制度と別に小規模事業者の受注機会の確保策を検討している。中小企業支援は、資金調達支援、経営課題から戦

略的展開までの支援や経営基盤強化に向け支援拡充など経営安定に向け取り組みを強化している。
B(健康・こども部長) 不妊治療助成
C(健康・こども部長) 負担の大きい不妊治療に対し県と盛岡市では助成拡充をする。市独自の助成については、情勢を見守りながら判断したい。



手すりの設置など高齢者や障がい者のかたがたが自宅で安全に生活するためにさまざまな住宅改修が行われています